

平成28年度津山市生涯学習関連事業実施報告

基本目標	基本施策	事業数
I 学ぶ 学びを通じた自己実現	1 生涯学習の啓発推進と学習機会の充実	57件
II 活かす 学んだ知識や経験の活用	2 学びを支え、つなげる人材の育成・活用	11件
III つなぐ 人、地域、世代を結ぶつながりづくり	3 生涯学習を通じた持続可能なまちづくり	45件
IV 創る 希望あふれるまちづくり	4 生涯学習を推進するための基盤整備	10件
	5 希望あふれるふるさと津山の創造	26件
合 計		149件

事業の評価結果	事業数	%
A (達成している 95%以上)	125 件	83.9%
B (ほぼ達成している 80%以上)	13 件	8.7%
C (概ね達成している 60%以上)	7 件	4.7%
D (達成していない 60%未満)	1 件	0.7%
※ (評価できない。その場合は備考欄に理由を記載)	3 件	2.0%

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H28実績 (参加人数等)	H28計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
1	4	津山市、美作大学及び津山高専との包括連携協定に基づく協働	3者の経営資源を相互に活用する事業を検討及び実施し、単独では達成できない事業効果を生むことを目的とする。これにより、地域産業の振興や市民の文化、学術レベルの向上に繋げるもの。	津山市、美作大学、津山高専	-	-	学生 一般市民	143件	136件	政策調整室	A	市の依頼による包括連携実施件数 98件 大学等からの依頼による包括連携実施件数 45件
2	3	自主防災講座	災害の被害の軽減には、自助・共助が大切であることを伝え、防災意識の高揚を図る。	津山市	8月7日	成名公民館	住民	各回 20～50人	50人	危機管理室	A	
					8月18日	林田旭ヶ丘コミュニティハウス			20人			
					9月15日	総合福祉会館			30人			
					9月25日	東小学校			120人			
					10月3日	高野公民館			50人			
					10月18日	清泉公民館			30人			
					11月13日	沼防災農園			30人			
					11月13日	高野山西公会堂			30人			
					11月24日	総合福祉会館			250人			
12月28日	安産稲荷神社	30人										
3	1	さん・さん祭り	男女共同参画社会について考える場を提供するとともに、その社会の実現をめざして活動する登録団体の交流と発表を実施する。合わせて男女共同参画センター「さん・さん」の実施する事業の紹介とPRを行う。	津山市	12月3日・4日	津山男女共同参画センター「さん・さん」	一般市民	2,853人	3,000人	人権啓発課	A	
4	1	「さん・さん」セミナー	男女共同参画の推進。 自分自身を考え、自己決定のための講座開催。	津山市	5月15日・7月2日・8月27日・10月30日・11月6日・1月21日・2月25日	津山男女共同参画センター「さん・さん」	一般市民	のべ157人 (7回)	30人/回	人権啓発課	C	平均22人/回
5	1	「さん・さん」おんな・おとこ塾	男女共同参画の推進のための講座開催	津山市	8月21日・3月5日	津山男女共同参画センター「さん・さん」	一般市民	41人	10人～40人/回 (講座内容による)	人権啓発課	B	・8/21親子料理教室…募集5組に対し、参加者5組(11人) ・3/5座談会…募集40人に対し、参加者30人 開催会場の会議室の定員数を募集人数としたが、座談会形式だったので30人が適正人数であり、アンケート結果では参加者の満足度は非常に高かった。
6	1	ひと・ふれあい講演会	市民一人ひとりが様々な問題を人権の視点から見つめ、その大切さに気付く学習機会を提供する。	津山市	7月24日	グリーンヒルズ津山リージョンセンター	一般市民	150人	200人	人権啓発課	C	参加者は目標より少なかったが、参加者の満足度は高かった。
7	1	人権を考える市民のつどい	人権尊重の理念についての普及・高揚を図ることを目的に、毎年度開催している。 人権週間(12/4～12/10)	津山市・津山市教育委員会	11月27日	グリーンヒルズ津山リージョンセンター	一般市民	200人	200人	人権啓発課	A	
8	1	人権教育出前講座	すべての場に、人権が自然な形で溶け込んでいくような社会を作り上げるために、企業や団体、町内会の集まり等へ、講師の派遣を行う。	津山市	4月22日・7月6日・8月22日・10月28日・11月8日・11月24日・11月30日・12月1日・12月16日・12月19日・3月9日	市内一円	一般市民	666人	500人	人権啓発課	A	実施回数11回

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H28実績 (参加人数等)	H28計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
9	1	市民平和祭	津山市民が戦争の悲惨さと平和の尊さについて認識を深め、世界の恒久平和の達成を目指す。 平和パネル展・親子映画会・親子平和バス	津山市民平和祭実行委員会	8月1日～8月27日	市役所1階市民ホール	一般市民	718人	500人	人権啓発課	A	
10	5	水の学校	小学生に市内の河川で水生生物や水質の調査を体験させるとともに、水環境への関心を高め水質汚濁防止を図る。	津山市	8月20日	加茂川、吉井川	小学生及び保護者	52人	50人	低炭素都市推進室	A	
11	5	森の学校	市民が、森で生物観察、間伐、炭焼きなどの活動を体験できる機会を提供し、森林資源と環境への関心を高め、山林の保全を促す。	津山市	11月27日	久米山	小学生及び保護者	32人	50人	低炭素都市推進室	C	2回開催予定のうちの2月開催予定分が悪天候により中止となったため、参加者が見込みより少なかった。
12	3	親子エコフェスタ	地域における環境問題や地球温暖化防止活動について考え、環境保全意識の高揚を図る。また、中心商店街の空き店舗を活用することで、地域活性化事業としても開催する。	親子エコフェスタ実行委員会	6月12日	アルネ津山及び周辺商店街会場	子供から高齢者まで幅広い年齢層の方	1,200人	1,200人	低炭素都市推進室	A	
13	3	消費生活公開講座	消費者被害から身を守るため、知識や対処法を学ぶ。	津山市	1月15日	グリーンヒルズ津山・リージョンセンター	一般市民	90人	150人	環境生活課	C	当日の悪天候(積雪)により、参加者が見込みより少なかった。
14	3	地域交流促進事業	各種教室講座を開催し生涯学習の機会の提供に努め市民相互の交流促進を図る。 【講座内容】 健康体操教室、ヨガ教室、料理教室、ふれあいバスツアーなど	津山市・各会館	随時	福岡会館 加茂中原会館 公郷会館 大久保会館 柳会館	一般市民	4,000人	4,000人	生活福祉課	A	
15	3	ふれあい作品展	障害者(児)が、絵画、作品等の作製を通じて創作の喜びを味わい自らの障害を克服する勇氣と能力を育てる。あわせて社会の障害に対する正しい認識を深める。	ふれあいスポーツ大会実行委員会	12月5日～12月9日 (障害者週間平日)	市役所市民ホール	津山地域の障害者・障害児・福祉関係者・一般市民	455人	350人	障害福祉課	A	
16	3	ふれあいスポーツ大会	三障害者合同でスポーツ大会を開催。ボランティアとの交流により障害者に対する知識・理解を深める。	ふれあいスポーツ大会実行委員会	6月12日	津山総合体育館	津山地域の障害者・障害児・その家族・ボランティア・福祉関係者	350人	300人	障害福祉課	A	
17	3	ふれあい村	三障害者合同で障害者と市民とのふれあいの場を設定。障害者に対する正しい理解を深める。	ふれあいスポーツ大会実行委員会	10月16日	津山市役所東側駐車場	津山地域の障害者・障害児・その家族・ボランティア・福祉関係者・一般市民	500人	450人	障害福祉課	A	
18	3	めざせ元気!!こけなから講座	介護予防や閉じこもり防止のため、各町内会の公会堂を単位として講座を実施する組織を育成し、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で顔なじみの人たちとともに自分らしくいきいきと生活を送ることが出来るようにしていくことを目的として実施する。	高齢者を中心とした地域住民	毎週1回	各町内会の公会堂等	高齢者等	3,930人	3,950人	高齢介護課	A	

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H28実績 (参加人数等)	H28計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
19	3	認知症ささえあえるまちづくり事業	認知症を正しく理解し、支え手として出来ることを考え気づくことにより、地域住民の意識変容や行動変容を引き出せるよう支援する。認知症になっても安心して暮らせるまちづくり、地域で見守り支えあう事の出来る仕組みづくりを目指して実施する。	津山市地域包括支援センター	11箇所です各2回ずつ実施	各町内会の公会堂等	一般市民(成人)	215人	160人	高齢介護課	A	
20	3	おぎやつと21 in 津山	新しい命の誕生を祝福し、健やかな成長を社会全体で支援し、子どもたちの可能性を通して豊かな社会を築いていくための参加型・提案型のイベント。	はぐみ岡山実行委員会	9月22日	グリーンヒルズ津山リージョンセンター	乳幼児親子、妊婦夫婦等	5,000人	5,000人	こども課	A	
21	3	ブックスタート事業	本との出会いを通じ、乳幼児親子のふれあいを深めることをめざす。	津山市	年24回(乳児健診実施時)	「津山すこやか・こどもセンター」健診室	乳児親子	820人	900人	こども課 健康増進課 図書館	B	乳幼児健診時においてブックスタート事業を実施しているが、近年の少子化により配布数は減少傾向となっている。
22	2	ファミリー・サポート・センター運営事業(子育てサポート講座等)	サポート活動・子育てのための情報提供・知識・技術習得のため。	津山市	年3回	男女共同参画センター「さん・さん」他	ファミ・サポ会員及び一般市民(社会人・高齢者)	46人	55人	こども課	B	ファミリー・サポート・センター提供会員向けの義務化されたカリキュラム。2年に1回同じ内容のものを開催している。提供会員は、1度受けた講座にはあまり参加しない傾向があるので、参加者数が少ないと思われる。
23	2	ファミリー・サポート・センター運営事業(クリスマス交流会等)	会員間の親睦と一般市民向けファミリー・サポート・センター事業の周知のため。	津山市	年3回	男女共同参画センター「さん・さん」他	ファミ・サポ会員及び一般市民(乳幼児・小学生・社会人・高齢者)	159人	160人	こども課	A	
24	2	栄養教室	健康づくりへの関心を高め、地域の食生活改善や健康増進を推進するリーダーの養成講習として開催。 ・調理実習・体験学習・講演	津山市	年7回	津山市中央公民館	栄養委員	のべ283人	45人/回	健康増進課	A	毎回、テーマにそって7回実施。参加者は地域で伝達講習会を実施した。7回の合計40時間のうち、8割以上で修了という基準があるため、延べ参加者数の8割以上を評価基準と考え、Aとした。
25	5	津山ホルモンうどんのPR	津山特有の食文化である「津山ホルモンうどん」を市内外でPRすることにより津山市観光の振興を図るもの。市内外のイベントに出向き、実際に調理・販売することを通じて、地域の活性化とその機運の醸成を図り、併せて、地域づくりを担う人材育成を図る。	津山ホルモンうどん研究会	平成28年4月～平成29年3月のべ26日	津山城(鶴山公園)他 市内外15箇所	津山ホルモンうどん研究会会員	125人	80人	観光振興課	A	
26	5	津山まなびの鉄道館	津山に遺された鉄道遺産を後世に伝えていくこととあわせて、鉄道の成り立ち、社会や地域とともに発展してきたあゆみ、しくみの変遷について紹介し、社会や地域の発展と鉄道との関わりについて学ぶことを目的とする。	津山市観光協会	通年	津山まなびの鉄道館	一般市民	76,824人	—	観光振興課	A	

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H28実績 (参加人数等)	H28計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
27	2	津山市人づくり事業	津山地域の若手経営者、後継者候補、経営幹部の方などを対象に、経営的視点を養い、地域を担うリーダーを養成することを目的とする経営能力開発講座をはじめ、産業人材の育成を図る「つやま産業塾」を運営する。	津山市人づくり事業運営委員会	・経営能力開発講座 20期:4月15日～8月26日 21期:10月14日～3月10日 ・プロフェッショナルコース 3期:10月20日～12月15日 4期:1月13日～3月17日 ・市民公開講座 9月20日 2月25日	津山圏域雇用労働センター等	津山市民あるいは、津山市内の企業の従業員等	産業塾 19～22人/回 プロコース 16～21人/回 市民公開講座 81人 103人	産業塾 20人/回 市民公開講座 50人	みらい産業課	A	
28	5	農業体験学習	農業体験を通じ、農業の大切さ、食の安全性等について、小学校、JA、生産者団体等関係各機関・団体と連携し推進する。	小学校	春-5月～6月 秋-9月～11月	各小学校周辺の田及び畑	小学生(2年生・5年生)	900人	950人	農業振興課	A	
29	2	林業担い手確保育成事業	林業の成長産業化に必要な人材の確保・育成を目的とする。 市民(学生を含む)を対象とした植林から間伐までの林業体験講習を実施する。	津山市	12月3日	津山市加茂町宇野地内(市有林)	一般市民	17人 (1回)	50人 (10人×5回)	森林課	D	5回開催の予定が1回になり目標の参加人数に達成できなかった。
30	5	森林環境学習出前講座	森林の有する多面的機能や森林整備の必要性等に対する理解と関心を深めるため、出前講座を実施する。	加茂小学校 PTA	10月29日	津山市加茂町宇野地内(市有林)	小学生	30人	-	森林課	B	植林体験等を通じて森の大切さを伝えられた。
				勝間田高校	5月10日、6月21日、 11月15日、1月31日	勝間田高校実習室	勝間田高校生	のべ40人				林業を専攻する生徒が少ない中、津山市の森林の状況等や地域材の利用の拡大が重要であることを説明し、一定の効果があつたと思われる。
31	5	夏休み親子 下水道教室	下水道のしくみと働きを楽しく学び、人と水の関わりについて考えることにより下水道の接続促進を図る。	津山市	8月2日	大阪市下水道科学館ほか	下水道供用開始区域の小学4年生の親子20組	40人	40人	下水道課	A	
32	5	重要伝統的建造物群保存地区制度解説講座	城東伝建地区における各種規制・緩和措置等の制度説明や実施事業の概要を解説することにより、地区住民の意識向上や制度の円滑な運用に資する。	津山市	随時	地区内各所	一般市民	-	10～30人/回	歴史まちづくり推進室	※	※ 地元での制度説明会は要請がなかったため実施なし。制度解説のリーフレットを作成し配布した。
33	2	地域づくり人材育成事業	地域づくりの担い手を掘り起こし、行政との協働のまちづくりの核となる次世代の人材を育成する。	津山市	通年	市内等	市民団体	5団体	5団体	協働推進室	A	
34	2	国際交流ボランティア研修会	国際化に関する理解を深める。	NPO法人 津山国際交流の会	12月17日	津山市立図書館 視聴覚室	一般市民、国際交流サポートネット登録ボランティア	70人	20人	協働推進室	A	
35	2	日本語講師研修会	市が設置している津山日本語教室の企画・運営をおこなっている「津山にほんごの会」のボランティア講師を対象とした、教授技術向上のための研修会。	津山市	1月21日	津山総合福祉会館	成人	15人	15人	協働推進室	A	

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H28実績 (参加人数等)	H28計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
36	3	地域づくり発表会	住民自治組織などが集まり、地域づくり活動の実践発表や交流の場を設けることで、お互いのレベルアップを図り、協働によるまちづくりを推進することを目的としている。	津山市	2月4日	津山東公民館	一般市民	77人	—	協働推進室	A	「あいあいまつり」から「地域づくり発表会」に事業を変更したため、計画値なし。今年度から地域づくりの実践発表会に形を変えて実施。住民自治組織のほか、NPOや福祉関係者、行政など多数の参加者があり、A判定とした。
37	3	住民自治協議会事業	集落や町内会機能の維持が近い将来困難になることが予想される地域の住民と市が協働で集落等の機能の再編と地域活性化の取り組みを行う。	津山市	通年	市内全域	一般市民	2団体	2団体	協働推進室	A	津山市第5次総合計画で掲げている年間立ち上げ目標団体数を達成している。その他にも事業の周知を行っているので、取組や協議会立ち上げの相談も受けている。
38	3	地域チャレンジ！ 公募提案型協働事業	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動団体等から事業提案を公募し、津山市と協働して事業に取り組む。	津山市	6月1日～3月31日	市内	市民団体	9団体	8団体	協働推進室	A	
39	1	生涯学習講座(陶芸教室)	日々の生活にやすらぎと潤いを実感できるよう、市民を対象とした生涯学習講座(陶芸教室)を実施する。	津山市	毎月第2・4土曜日	まなび館	一般市民	のべ390人 (24回)	15人/回	加茂支所 市民生活課	A	
40	1	生涯学習講座(書道教室)	日々の生活にやすらぎと潤いを実感できるよう、市民を対象とした生涯学習講座(書道教室)を実施する。	津山市	毎月第1・3水曜日	加茂町公民館	一般市民	のべ180人 (23回)	8人/回	加茂支所 市民生活課	A	
41	1	生涯学習講座(手芸教室)	日々の生活にやすらぎと潤いを実感できるよう、市民を対象とした生涯学習講座(手芸教室)を実施する。	津山市	毎月第1・3月曜日	加茂町公民館	一般市民	のべ150人 (18回)	10人/回	加茂支所 市民生活課	B	参加者は毎回熱心に取り組むことができた。
42	1	生涯学習講座(歌声教室)	日々の生活にやすらぎと潤いを実感できるよう、市民を対象とした生涯学習講座(歌声教室)を実施する。	津山市	毎月第1木曜日	加茂町公民館	一般市民	のべ450人 (12回)	40人/回	加茂支所 市民生活課	A	
43	1	勝北陶芸の里	陶芸の親睦を図り、地域の工芸技術の向上に寄与するとともに、市民相互の憩いの場を提供する。 子どもから高齢者、初心者から上級者まで楽しめる。世界にたった一つの作品を創作できる。	津山市・津山市教育委員会	月曜日、火曜日、年末年始(12月28日～1月4日)を除く日	勝北陶芸の里	一般市民	1,889人	1,940人	勝北支所 市民生活課	A	陶芸活動を通した生涯学習推進の啓発に努め、様々な体験教室の開催や、学校、施設等への出張陶芸教室を開催し、利用者の増加に努めた。
44	1	親子陶芸教室	親子で作品作りをし、陶芸に親しむ。	津山市・津山市教育委員会	年2回	勝北陶芸の里	中学生以下の子とその親	のべ117人	15組40人/回	勝北支所 市民生活課	A	
45	1	子どもステージフェスティバル	地域の保育園や小中学校の学習の成果の発表や茶道・ダンス・風神太鼓・銭太鼓などの日頃の青少年育成講座の発表の場として開催する。	津山市	11月5日	勝北公民館 勝北文化センター	幼児・小・中高生	106人	100人	勝北支所 市民生活課	A	
46	1	子ども映画祭	青少年の健全育成の一環として優秀な作品を上映する。	津山っ子を 守り育てる 市民の会	夏休み中に実施	勝北文化センター	幼児・小・中高生	500人	500人	勝北支所 市民生活課	A	
47	3	バンビ勝北	地域の指導者の自主的、主体的な活動を通して、子どもたちに学びの場を提供し、心身ともに豊かな人間関係を図る。	バンビ勝北 実行委員会	各教室により曜日で決めている	勝北公民館 勝北文化センター	小・中学生	のべ700人	のべ700人	勝北支所 市民生活課	A	

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H28実績 (参加人数等)	H28計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
48	3	元気ZZひろば	放課後、夏休み等を利用し、地域の子どもたちに様々な体験活動や家庭教育の支援を行い、夢を持ったたくましい子どもを地域で育てる。	元気ZZひろば実行委員会	7月～2月の水曜日・土曜日	勝北公民館 勝北文化センター	小・中学生	のべ400人	のべ400人	勝北支所 市民生活課	A	
49	3	勝北シルバー大学	生活に関する講座や歴史(文化財めぐり)、研修視察旅行などを行い、社会的視野を広げるとともに、生きがいのある生活をすすめ、シルバー大学生相互の親睦を深める活動を行う。	津山市	年8回	勝北文化センターほか	65歳以上の高齢者	67人	70人	勝北支所 市民生活課	A	学生の高齢化が進み、継続しての入会が減少しているが、新規会員の入会の啓発に努めている。
50	1	ミュージックフェスティバルイン久米	音楽を愛する子どもからお年寄りまで多くの人が、日ごろの練習の成果を発表する場として、また、世代間の交流が深まる楽しい演奏会として毎年開催するもの。	ミュージックフェスティバルイン久米実行委員会	12月11日	久米公民館	子どもからお年寄り	250人	150人	久米支所 市民生活課	A	
51	3	格致大学	高齢化社会の中で若さを失うことなく仲間とともに学び、社会参加を積極的に進め、みずから現代社会に適應するための学習。	津山市	年間9回	久米公民館	概ね60歳以上	113人	120人	久米支所 市民生活課	A	
52	3	久米キッズクラブ	子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	久米キッズクラブ運営委員会	6月から2月の毎週土曜日	久米公民館他	小中学校	43人	50人	久米支所 市民生活課	A	参加者からの満足度も高く、継続の参加者もいるため、A判定とした。
53	1	久米ふれあい陶芸センター	陶芸の振興を図り、地域の工芸技術の向上に寄与するとともに、市民相互の憩いの場を提供する。	津山市・津山市教育委員会	随時	久米ふれあい陶芸センター	一般市民	206人	300人	久米支所 市民生活課	B	陶芸技術の向上と憩いの場となっており、利用者からの満足度も高いため、B判定とした。
54	3	阿波ふるさとまつり	恵まれた自然と農林業を活かし、地域住民と都市生活者など内外の人々とのふれあいを通じて、産業の振興と観光の発展を図り、更に地域の活性化を目指す。	阿波ふるさとまつり実行委員会	5月15日	阿波ふれあい会館	一般市民	4,000	3,500	阿波出張所 地域振興課	A	
55	3	阿波ふるさとふれあい納涼星空まつり	阿波地域住民の及び帰省客相互のふれあいと親睦をあわせて地域の活性化を図る。	阿波ふるさとふれあい納涼星空まつり実行委員会	8月13日	あば交流館 駐車場	一般市民	1,000	1,000	阿波出張所 地域振興課	A	
56	3	防災の集い	自主防災の認識を深める。	阿波地域防災防犯会	8月28日	阿波グラウンド・阿波ふれあい会館	一般市民	200	200	阿波出張所 地域振興課	A	
57	3	選挙時臨時啓発	選挙管理委員会委員、明るい選挙推進協議会委員、市選挙管理委員会書記が、通行者に対し啓発グッズを配布しながら、投票日の周知や投票への参加を呼びかける。	選挙管理委員会	7月8日 10月21日	イオン津山店	一般市民	500人/回	500人/回	選挙管理委員会	A	7月の参議院議員選挙及び10月の岡山県知事選挙にて実施。
58	3	新成人への選挙啓発	津山市成人を祝う会で選挙啓発パンフレット等を配布し、選挙や投票することの大切さについて理解を深め、意識の高揚を図る。	選挙管理委員会	1月8日	津山文化センター	新成人	809人	800人	選挙管理委員会	A	
59	3	「水道局の仕事」	リクエスト大学の講座として、小学校4年生の社会科の授業に出てくる内容に合わせて、水道局の仕事の内容と浄水のできるまでを、パンフレットとビデオで説明する。	水道局	随時	浄水場	小学生、一般市民、管工事組合・協会、岡山県広域連携北部地域部会員	781人	500人	水道局経営企画室 小田中浄水場 草加部浄水場	A	

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H28実績 (参加人数等)	H28計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
60	3	水道週間啓発イベント	国民の水道に対する理解と関心を深めるため、毎年設定される「水道週間(6月第1週)」に合わせて、「水道なんでも相談」「水道アンケート」「ボトルウォーター(津山の水)の配布」等のイベントを開催する。	水道局	6月1日～7日	市役所ロビー	一般市民他	300人	300人	水道局経営企画室	A	
61	5	ふるさと学習推進事業「My Townつやま」	【目的】 地域に根ざした学びをすすめ、ふるさとを理解しふるさとを愛する心を培うことをねらう。 【内容】 学校や地域の特色を生かした取組を支援し、地域人材を活用するなど地域に密着した体験活動を行う。 ※「市内の6年生が洋学資料館・郷土博物館等を訪れるなど、地域の先人や文化の学習」	津山市教育委員会 各学校	随時	各学校 各地域	児童生徒及び 地域の人材	3,000人	3,000人	学校教育課	A	
62	3	チャレンジ・ハッピーデー	【目的】 子どもたちの生活習慣を確立するとともに、家庭での有意義な時間の過ごし方が創造できることを目指す。 【内容】 毎月第4週を「チャレンジ・ハッピーデー」ウィークと定め、家庭での時間の使い方を振り返り、家族での会話・家事・読書・家庭学習をする等、有意義な時間が持てるよう呼びかける。 ※「ノーテレビ・ノーゲーム・メディアコントロール」	津山市教育委員会 各学校	毎月第4週 重点月間(5月・11月)	各家庭	児童生徒 保護者	9,000人	9,000人	学校教育課	A	
63	5	つやまっ子・デビュー14	【目的】 キャリア教育の観点から、生徒の望ましい職業観や勤労観を育て、「生きる力」を育成することを目指す。 【内容】 学校・家庭・地域及び産業界が連携・協力を図りながら、各中学校2年生が職場体験を実施する。 ※「津山市内8中学校の中学2年生全員による3～5日間の職場体験活動」	津山市教育委員会 各中学校	5月(1校) 6月(5校) 11月(2校)	各事業所等	生徒 保護者	1,000人	1,000人	学校教育課	A	市内8中学校の2年生が参加。7中学校が3日間、1中学校が5日間実施した。
64	1	夏休み親子料理教室	親子で料理をすることにより、料理の楽しさを知り、調理の基礎知識を身に付け、食への関心を高めることを目的に開催する。	岡山県学校給食会 津山市学校給食会 津山市教育委員会	8月に2回	戸島学校食育センター	小学生及びその保護者	50人	50人	保健給食課	A	
65	1	学校食育センター見学	戸島・草加部両学校食育センターの見学を通じて、学校給食への理解を深めることを目的に、希望に応じて実施する。	津山市教育委員会	随時	戸島学校食育センター 草加部学校食育センター	小・中学生及びその保護者並びに一般市民	331人	400人	保健給食課	B	戸島C11件・284人、草加部C5件・47人予定数を下回ったが、学校給食への理解を深めていただくことに寄与した。
66	3	朝食づくり講座	早寝・早起き・朝ごはんの取組みとして、簡単にできる朝食づくりを親子で学び、健康づくりに欠かせない朝食の習慣化を図ることを目的に開催する。	津山市教育委員会 津山市PTA連合会	7月2日、10月22日・29日、11月19日、1月14日	各中学校	小・中学生及びPTA会員	320人	300人	保健給食課 生涯学習課	A	中学校ブロックごとに小中学校母親委員を中心に、朝食づくり講座を開催した。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H28実績 (参加人数等)	H28計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
67	1	生涯学習情報紙「まなびい」発行	市内で開催される生涯学習講座や教室の情報を冊子にまとめ配付することにより、学習機会の提供を行い、生涯学習の振興を図る。	津山市	毎年4月発行	公民館等	一般市民	年1回	年1回	生涯学習課	A	生涯学習通信「まなびい」を43,250部発行し、広報津山4月号に折込し、全戸配布した。
68	3	青年学級	知的障害者(青年)とボランティアが毎月様々な学習活動に取り組み、知的障害者の生涯学習の振興を図る。	青年学級	毎月第4の土曜日又は日曜日。また運営委員会を毎月第3の土曜日または日曜日	公民館等	16歳以上の知的障害者とボランティア	のべ375人	のべ100人	生涯学習課	A	行事と運営委員会を毎月1回実施した。
69	1	大人のまなびい教室	生涯学習の一環として、体験学習や講義を通して、学ぶ楽しさと地域の魅力を再発見する。また、学んだことを受講者が地域や家庭に持ち帰り、それを広める。	津山市教育委員会	6月22日、7月27日、9月28日、10月26日	市内各所	市民	のべ112人(4回)	30人/回	生涯学習課	A	市内の施設を見学・体験したり、講座で学ぶ地域の魅力を理解し、生涯学習のきっかけづくりとなった。4回連続講座として、募集定員30人に対し51人の応募あり(抽選により43人が受講)。当日欠席はあったが、A判定とする。
70	2	津山市生涯学習人材バンクの活用	各地域における講師・指導者の人材情報を集約し、民間や学生などの新たな人材の掘り起こしを行い、これらの情報を「津山市生涯学習人材バンク」として整備する。また岡山県生涯学習センター等他団体の同様の人材バンク等との連携・連動を模索する。	津山市教育委員会	—	—	一般市民	—	—	生涯学習課	A	登録数(平成29年3月末): 123【個人102、団体・企業21】
71	5	「明日の津山を考える」青年公開討論会	毎回、時勢のテーマを設定のうえ議論を深め、青年の社会参加と地域の活性化を図る。	津山市青年団体連絡協議会	10月25日、1月23日	庁内	青年	2回	2回	生涯学習課	A	
72	1	生涯学習に関する広報事業	生涯学習に関する機関・団体を含めた学習情報を収集し、提供する。ホームページ・CATVなどのメディアを活用し情報提供する。県生涯学習センターとの連携を図る。	津山市教育委員会	随時	社会教育施設	一般市民	—	—	生涯学習課	A	
73	5	つやま子ども未来塾	親子を対象に郷土の歴史や文化、産業などについて深く知る講座を高校や大学、企業などの協力を得て開催し、地域愛、郷土愛、親子愛などを育み、将来の地域貢献や定住につなげる。	津山市教育委員会	随時	市内各所	小学生(親子)	1,033人	500人	生涯学習課	A	企業見学、津山産食材を使用した調理実習、市内の大学や高校での体験学習などを実施し、地元の産業・文化・歴史を学ぶことにより郷土への関心を深めた(14回)。また、公民館を中心とした地域学習の機会を増やし、地域ぐるみで将来を担う子どもたちの育成を行った(17回)。
74	3	げんぼくん寺子屋わくわく事業	放課後や週末の小学生を対象に、学力低下、学習意欲の低下、生活習慣の乱れなどの課題を解決するきっかけとして、公民館を拠点にして、宿題や学習要素のある100マス計算、数独、パソコンなどに取り組む。	津山市教育委員会	随時	市内	小学生	1,200人	1,000人	生涯学習課	A	
75	3	放課後子ども教室	放課後や土日、長期休業中などに主に小学生を対象に、地域の協力を得て居場所づくりを進め、体験学習や地域学習のほか、学習支援なども進める。	津山市教育委員会	随時	市内20カ所	小学生	20教室	20教室	生涯学習課	A	【教室数】 平成27年度19教室⇒平成28年度20教室 参加者数のべ11,000人

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H28実績 (参加人数等)	H28計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
76	4	第4次生涯学習推進計画策定記念事業	第4次生涯学習推進計画の策定を受け、読書や陶芸、ボランティア養成など生涯学習を広く普及啓発する事業を開催する。	津山市教育委員会	①6月25日 ②③1月14日	①市立図書館 ②③中央公民館	一般市民	① 40人 ②106人 ③ 19人	100人	生涯学習課	A	第4次生涯学習推進計画の策定を受け、生涯学習を広く普及啓発する事業を開催した。 ①記念講演会「備前焼の今・これから」(勝北陶芸の里工房20周年記念事業と合同) 講師:陶芸家 大石橋宏樹 ②親子体験型イベント「親子で遊ぼう ヤッホー探検隊 宝探しに出発!」 ③NPO法人あそび環境Museumアフタフ・バーバン北島尚志さんと若者が語る会
77	3	家庭教育支援指導者研修会	家庭教育支援を進めるワークショップのファシリテーターやボランティアなど、家庭教育支援者の養成及び資質向上を進める。	津山市教育委員会	7月9日	津山市役所東庁舎	家庭教育指導者	24人	20人	生涯学習課	A	
78	3	学校支援ボランティア制度の推進	生涯学習で見つけた経験や特技を、子どもたちや学校のために活かせる仕組みを構築する。 また、ボランティアのスキルアップのための研修会や交流会を実施する。	津山市教育委員会	随時	市内各小中学校	一般市民	2,800人	2,700人	生涯学習課	A	地域をあげて子どもたちの教育を支援するため、2,800人の学校支援ボランティアの登録があった。
79	4	学校支援ボランティア研修会	学校支援ボランティアの資質向上と学校支援地域本部の啓発を促進する。	津山市教育委員会	1月12日	北陵中学校	教職員、学校支援ボランティア等	80人	50人	生涯学習課	A	
80	4	学校支援地域本部事業	学校支援ボランティアを活用し、地域の教育力により学校を支援する仕組みづくりを構築する。	津山市教育委員会	通年	市内各小中学校、公民館等	一般市民	-	-	生涯学習課	A	学校支援地域本部事業の実施校を小中全校に拡大したほか、公民館など地域の中での居場所づくりや学習支援も行った。
81	4	社会教育関係者対象研修会	社会教育委員・教職員・行政職員を対象に社会教育活動において必要とされる指導者等の人材育成に努め、活動の一層の活発化を図られるようにする。	津山市教育委員会	1月13日 2月3日	市内	公民館長、行政職員、NPO他	80人	50人	生涯学習課	A	
82	4	公民館整備事業	公民館整備計画に基づき順次整備	津山市教育委員会	通年	清泉公民館 広野公民館 二宮公民館	-	-	-	生涯学習課	A	清泉公民館:平成28年8月から供用開始。 広野公民館:新年度からの建築工事に向け、3月に造成工事及び実施設計が完了。 二宮公民館:西エリア幼稚園との複合施設として、地元調整を行った。新年度からの現公民館解体に向け、旧館への引っ越しを行った。
83	1	家庭教育推進事業	保護者が家庭において、子どもを教育していくための効果的な事例や手段を学び、実践できるような取組を推進する。 親学講座、家族ふれあい教室、講演会、子育てワークショップ研修など	津山市教育委員会	随時	市内幼・保・小・中学校等	幼保、小中学生の保護者	6,051人	6,000人	生涯学習課	A	

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H28実績 (参加人数等)	H28計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
84	1	生涯学習講座	時代とともに変化する市民ニーズを調査し、多様なニーズに対応できるよう学習プログラムを改善し、講座を開催する。	津山市教育委員会	①11月25日 ②1月14日	①津山市男女共同参画センター「さん・さん」 ②中央公民館	①社会教育関係者・地域づくり関係団体等 ②小学生親子	① 27人 ②106人	120人	生涯学習課	A	①講師：NPO法人男女共同参画おた理事 長 坂田静香 演題：講座の企画とチラシの作り方 ②講師：NPO法人あそび環境Museum アフタフ・バーバン代表 北島尚志、平川恭子 演題：親子で遊ぼう ヤッホー探検隊 宝探しに出発
85	1	陶芸教室	各種陶芸教室や、学校や幼稚園などへの出前講座	津山市教育委員会	随時	勝北陶芸の里工房 市内小学校等	一般市民 小学生等	847人	500人	生涯学習課	A	講座：8日、のべ137人 出張陶芸教室：29回、のべ710人
86	1	論語教室	規範意識や相手を思いやる心を醸成し、心のよりどころとなる確かな言葉を学ぶ。	津山市教育委員会	-	-	一般市民	-	40人	生涯学習課	※	※規範意識向上を目的として実施していた論語教室の見直しを行った。規範意識について考えるプログラムを、保護者を対象としたワークショップ研修で実施した。
87	1	中国文化入門講座	漢字や中国文学について学ぶ教養講座	津山市教育委員会	①12月10日 ②1月29日	図書館	一般市民	65人	80人	生涯学習課	B	
88	3	PTA研修会(小中学校)	津山市PTA連合会の全体研修	津山市PTA連合会	①8月19日 ②12月11日	津山総合福祉会館、東庁舎	成人(PTA)	①40人 ②45人	100人	生涯学習課	B	①講師：赤磐市立高陽中学校長 平田俊治 演題：子どもたちが主役 地域社会と支え合う学校づくり ②講師：ウイメンズクリニック・かみむら院長 上村茂仁 演題：Living Well (思春期講座)
89	3	PTA研修会(幼稚園)	津山市幼稚園PTA連絡協議会の全体研修	津山市幼稚園PTA連絡協議会	①9月5日 ②2月17日	①中央公民館 ②津山文化センター会議室	成人(園長・幼稚園PTA)	①108人 ② 55人	100人	生涯学習課	A	①講師：児童文学作家・おひさまクラブ代表 浅間玲子ほか 演題：忙しい人のキラキラ子育て ②内容：実践発表とワークショップ研修「保護者力アップと仲間づくり」
90	5	美作学講座	美作大学との包括連携協定に基づき、共催で美作学講座を開催する。平成28年度テーマ：津山市史関連研究から	津山市教育委員会 美作大学	①6月11日 ②8月27日 ③10月1日 ④12月3日	美作大学	一般市民	246人	250人	生涯学習課 文化課	A	①報徳運動の展開と二宮金次郎像 ②江戸時代の津山の鮎・築と藩主 ③美作の古代史 ④津山藩の妊娠・出産管理政策からみた女と子どものいのちと題して、津山市史研究報告会を実施した。
91	4	生涯学習推進本部・幹事会の会議の開催	本部は生涯学習推進のための基本方針を決定する。幹事は議案の調整、本部長の命を受けた事務の処理を行う。	津山市教育委員会	幹事会：7月1日 本国会議：7月15日	庁内	市職員	-	-	生涯学習課	A	
92	4	生涯学習推進懇談会の開催	市民の有識者で構成し、津山市の生涯学習の推進に関し、必要な事項を調査・審議し、その結果を市長に提言する。	津山市教育委員会	10月28日	庁内	生涯学習推進懇談会委員	-	-	生涯学習課	A	

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H28実績 (参加人数等)	H28計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
93	3	つやまっ子読書プラン推進事業	音読大会や読書インタビューなど子どもの読書活動の大切さを啓発する。また、読み聞かせボランティアや指導者の育成などを行う。	津山市教育委員会	①5月8日 ②7月18日 ③7月22日 ④11月3日 ⑤1月24日	市内	一般市民	171人	120人	生涯学習課	A	①ファミリー音読大会 22人 ②津山市子どもまつり(人形劇、読み聞かせ、絵本を題材にした工作) 62人 ③教科書音読発表会 43人 ④絵本に出てくる料理教室 14人 ⑤読書ボランティア交流・研修会 30人 親子のふれあいのきっかけとして、絵本や教科書の音読発表会などを実施した。また、「絵本にでてくる料理教室」では、これまでと違う観点から絵本にふれるきっかけをつくった。 読書ボランティア研修については津山教育事務所と共催で実施した。
94	3	英語暗唱大会	21世紀を担う中学生の英語に対する興味・関心と国際意識の高揚を図り、国際人としての基礎的人間性の育成に寄与する。	英語暗唱大会実行委員会	10月25日	市内	中学生	50人	50人	生涯学習課	A	50人の市内中学生がグループや個人で参加した。
95	5	リクエスト大学	市民の注文に応じて、市職員を派遣する。市職員が講師となり、市が行っている仕事の中で、市民が聞きたい、知りたいことを届ける。	津山市	随時	市内	一般市民	16,704人	15,000人	生涯学習課	A	平成28年度実績 実施回数:249講座 利用人数:16,704人 前年度の実績よりも44講座、1,449人の増
96	3	つやま子ども野外塾	子どもたちが、野外活動の基礎的な技術を習得し、キャンプを通じて実践し、様々な体験活動を通じて友情を深めながら心身ともに成長することを図る。	津山市子ども会連合会	年4回 5月21日、6月18日、 7月16日、8月26日 ～28日	中央公民館他	小学校4～6年生	47人	50人	生涯学習課	B	募集定員を50人としていたところ94%の47人にとどまった。
97	1	子どもまつり事業	参加関連団体等と連携し、子どもたちの健全育成を図り、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興と地域の活性化に寄与する。	津山市教育委員会	7月18日	地域交流センター	幼児、小学生、保護者	1,500人	1,500人	生涯学習課	A	
98	3	津山っ子こころのふれあいトーク	大人と中学生との意見交換を通じて、健全育成活動の充実を図る。	津山っ子を守り育てる市民の会	12月10日	リージョンセンター	成人 中学生	150人	150人	生涯学習課	A	
99	1	こころの子育てフォーラム	子どものこころの問題に焦点をあて、子どもたちが「生きる力」を身につけられるように、子育てをする人や教育に関わる人が一緒に考えるための講演会を開催。	津山市教育委員会	11月26日	津山東公民館	市民	60人	50人	生涯学習課 鶴山塾	A	
100	3	生涯学習まつり・公民館文化祭	生涯学習の普及・啓発のため、市民団体と協働して講演会や体験教室などを開催する。(市内23公民館)	津山市教育委員会 市内公民館 実行委員会	10月、11月、 2月、3月	市内公民館ほか	一般市民	23,000人	19,000人	生涯学習課	A	
101	3	市内公民館での主催講座・自主講座	市民の学習ニーズを把握し、学習機会を提供する。	津山市教育委員会 市内公民館	通年・随時	市内公民館	一般市民	のべ36万人	のべ35万人	生涯学習課	A	市民ニーズに応えた講座を主催し、多くの市民の参加を得た。また、自主講座の活動も活発であった。
102	5	市内公民館での歴史講座	地域に埋もれた歴史資産を掘り起こすことで郷土の歴史への認識を新たに、郷土への愛着を深める。	津山市教育委員会 市内公民館	通年・随時	市内公民館ほか	一般市民	1,400人	250人	生涯学習課	A	

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H28実績 (参加人数等)	H28計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
103	4	公民館運営への市民参画	津山市公民館運営審議会や市内各公民館活動推進協議会で、公民館運営についての市民意見を聴取する。(市内23公民館)	津山市教育委員会 市内公民館	随時	市内公民館	委員	350人	350人	生涯学習課	A	
104	1	図書館まつり	生涯学習の普及・啓発や図書館利用・読書推進のため市民団体と協議し、講演会や体験教室・子ども向けの読み聞かせ会などを開催する。	津山市教育委員会	1月21日・22日	津山市立図書館(本館)	すべての利用者	入館者3,688人 行事参加者598人	入館者(2日間合計)3,000人 行事参加者300人	図書館	A	低炭素推進室と連携した催しを開催し、環境に関する劇や講演、リサイクルおもちゃ作りなど幅広い市民の参加があった。
105	1	津山市を調べる学習コンクールの開催	児童・生徒の、津山への愛着心を育てるためと、「生きていく力」を養うため、津山に関する調べ学習を行う場を設け、その成果を募集しコンクールを開催する。	津山市教育委員会	平成28年度	津山市立図書館 学校図書館 文化課各施設等	小・中学生	198人	100人	図書館 生涯学習課 文化課 学校教育課 教育総務課	A	サポート説明2回、サポート勉強会7回開催。市内での地域コンクールを経て2作品を全国コンクールに応募した。
106	1	自動車文庫推進事業	図書館遠隔地、小学校、幼稚園、老人施設、集客施設等を中心に定期的に巡回し、読書推進を図る。	津山市教育委員会	通年、毎月	市内全域	一般市民 生徒、園児 教職員	貸出冊数 41,747冊	貸出冊数 40,000冊	図書館	A	市内36カ所に巡回、利用者から好評を得ている。
107	1	健康セミナー事業	健康を題材として、食育、運動など多角的テーマで講演会を開催。関連本の紹介や健康関連コーナーを常設し、市民生活に役立つ情報提供を推進する。	津山市教育委員会	通年、 7月9日(講演会)	津山市立図書館内	一般市民	21人	25人	図書館	B	セミナー1回開催。毎回参加者から好評を得ている。
108	2	ボランティアグループとの連携	ボランティアグループなどとの連携による読み聞かせやお楽しみ会を開催する。	津山市教育委員会	通年・随時	津山市立図書館内	ボランティアグループ及び個人	593人	500人	図書館	A	
109	3	津山中央病院医療情報プラザとの相互協力事業	来館困難な入院患者やその付き添い親族を対象に同病院医療情報プラザへ団体貸出を行うとともに、医療健康情報等の共有化を推進する。	津山市教育委員会	通年、 11月15日(講演会)	津山市立図書館(本館)及び津山中央病院医療情報プラザ	一般市民及び同病院入院患者等	講演会63人 貸出冊数740冊	講演会30人 貸出冊数1,000冊	図書館	A	講演会1回開催、団体貸出実施。総合的に判断し、A判定とした。
110	1	ビジネス支援事業	ビジネス関連の課題解決に向け、市民・利用者の就職活動、起業、能力アップを支援するため、就職支援セミナー、各種講演会、情報コーナーの拡充を推進する。	津山市教育委員会	7月28日、9月12日、 8月27日、9月10日	津山市立図書館内	一般市民	74人	80人	図書館	B	講演会2回、セミナー2回開催 熱心な参加者が多数参加。
111	4	幼・保・小・中との連携による読書推進	幼・保・小・中との情報交換に努め、児童・生徒の読書支援のため、読み聞かせ、大量・長期の貸し出し、調べ学習サポート、総合学習など新学習指導要領を反映できるような支援を継続的に推進する。	津山市教育委員会	通年・随時	津山市立図書館内	学校関係者・ 保育所関係者・ 児童・生徒	貸出冊数 59,834冊	貸出冊数 60,000冊	図書館	A	
112	3	市内高校・大学との連携事業(図書館相互協力の推進)	美作大学・津山高専・市内の全高校との相互貸借システムを維持・発展させる。また、両校の講師派遣を受けて講座・講演会を実施する。	津山市教育委員会	通年・随時	津山市立図書館内	高校・高専・ 大学関係者・ 学生	—	—	図書館	A	美作大学・津山高専との三館連携が来年度10周年を迎えるにあたり記念事業の計画をスタートさせた。
113	1	放送大学岡山学習センター津山教室充実事業	県北在校生の履修科目の教材の収集・配架を行い、利便性の向上を図るとともに、同大学教授陣による講座を定期的に開催し、市民へ更なる生涯学習を推進する。	津山市教育委員会	通年・随時	津山市立図書館内研究室	一般市民 在学生	54人	60人	図書館	B	講座3回実施 毎回、参加者から満足度の高いアンケート結果が得られた。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H28実績 (参加人数等)	H28計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
114	1	図書館ネットワーク推進検討事業	学校図書館の読書・学習センター機能の充実と、各種情報の共有化による読書活動の推進のため、学校図書館と市立図書館とのネットワーク化について、関係化による調査研究を行う。	津山市教育委員会	通年・随時	津山市立図書館及び市内全小学校図書館	学校司書、司書教諭他	—	—	図書館 学校教育課 総務部 情報政策課	A	調べる学習コンクール開催に際して、各学校司書を対象とした合同研修会を開催し、連携・情報共有の推進を行った。
115	5	観光交換展示事業	市外の各図書館とタイアップし、当市の文化・観光情報等と他都市のそれを各館相互に展示、幅広く情報発信するとともに観光客誘致の一助とする。	津山市教育委員会	通年、随時	津山市立図書館内	一般市民	—	—	図書館	A	和気町の観光と岡山県自然保護センターの活動を紹介展示した。また、北海道稚内市立図書館に津山市の観光PR展示をしていただいた。
116	1	津山国際総合音楽祭の開催	幅広いジャンルのコンサートや市民参加の企画等で構成される音楽祭。平成29年秋に第10回を迎える。	津山市教育委員会	平成29年度	津山文化センター、ベルフォーレ津山など	一般市民	—	—	文化課	※	※H29年度開催のため、今年度はプログラム作成などの事前準備を行った。
117	1	西東三鬼賞	津山出身の俳人 西東三鬼(4/1没)を顕彰し、三鬼俳句の精神を継ぐ新しい感覚の俳句文芸の振興を目指し、広く作品を募集した。平成28年度で24回目を迎えた。	西東三鬼賞委員会	平成28年度 (表彰式)平成29年4月1日	鶴山ホテル	全般	760人	1,000人	文化課	C	
118	1	津山市写真展	第1回から8回までは「みまさかの貌」、第9回から13回までは「作州人」、第14回からは「みまさかの現在(いま)」をテーマに開催。平成28年度で25回目を迎えた。	津山市教育委員会	11月12日～11月17日	市立文化展示ホール	一般市民	678人	600人	文化課	A	
119	1	新春津山川柳大会	県北を中心に県内一円から川柳愛好家が集う。平成28年度で36回目を迎えた。	津山市教育委員会	1月15日	津山総合福祉会館	一般市民	150人	150人	文化課	A	
120	1	文化財調査報告会	外部講師による文化財全般の講演、市職員による文化財調査の報告。	津山市教育委員会	3月11日	中央公民館	一般市民	80人	80人	文化課 弥生の里文化財センター	A	
121	1	美作考古学談話会	職員による考古学関係の講座、遺跡見学など。	津山市教育委員会	6月11日、8月27日、 10月1日、12月4日、 1月28日	文化財センター	一般市民	11人	15人	文化課 弥生の里文化財センター	C	参加者が年々少なくなっている
122	5	子ども歴史講座 勾玉をつくろう	古代の装飾品である勾玉づくりを体験することによって、古代の技術に触れ、歴史への理解を深める。	津山市教育委員会	夏休み期間中	津山郷土博物館	小学生	60人	60人	文化課 郷土博物館	A	
123	5	子ども歴史講座 トンボ玉をつくろう	古代の装飾品であるトンボ玉づくりを体験することによって、古代の技術に触れ、歴史への理解を深める。	津山市教育委員会	夏休み期間中	津山郷土博物館	小学生	20人	20人	文化課 郷土博物館	A	
124	1	美作地域史資料収集 展示事業	美作地域の歴史に係る貴重な資料を収集し、調査研究の上で展示・公開していくもの。	津山市教育委員会	随時	津山郷土博物館	小学生から高齢者	5件	5件	文化課 郷土博物館	A	
125	5	夏休み 子ども歴史講座	弥生土器を作成体験することによって、地域の歴史への共感と理解を深める。	津山市教育委員会	夏休み期間中	津山郷土博物館	小学生	30人	30人	文化課 郷土博物館	A	
126	5	企画展「館蔵資料展」	博物館の所蔵資料を中心として、様々な資料や作品を、テーマ設定に従って展示公開することにより、地域の歴史への理解を深める。	津山市教育委員会	随時	津山郷土博物館	小学生から高齢者	2回	3回	文化課 郷土博物館	C	不十分な施設の制約の中で、展示替え等も工夫しながら行った。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H28実績 (参加人数等)	H28計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
127	5	特別展「武士の行列」	参勤交代の大名行列をはじめとして、江戸時代における様々な武士の行列を取り上げ、近世社会における行列の意味を考える。	津山市教育委員会	10月8日～11月20日	津山郷土博物館	成人	1,000人	1,000人	文化課 郷土博物館	A	常設では展示できない資料の公開で、地域の歴史への理解を深めた。
128	5	美作の文化財めぐり	美作地域を中心としながら、文化財や歴史遺産を訪ねることによって地域の歴史に対する理解を深める。	津山市教育委員会	年3回	美作地域及びその周辺地域	成人	60人	60人	文化課 郷土博物館	A	
129	1	津山郷土博物館だより「津博」刊行事業	津山郷土博物館における実施事業の紹介や、学芸員による調査研究の最新情報を提供することにより、市民の学習に資するもの。	津山市教育委員会	年4回	津山郷土博物館	成人	年4回	年4回	文化課 郷土博物館	A	
130	1	地域史学習講演会支援事業	学芸員が地域のグループや町内会などに出向いて、美作地域史に関する講義講演を行い、市民のグループ学習に資するもの。	各種団体	随時	市内各地	成人	1,500人	1,000人	文化課 郷土博物館	A	
131	5	子ども歴史講座 カルメ焼きづくり	安土桃山時代に欧州から伝わった砂糖菓子が、ルーツになっているとされるカルメ焼き作りを通して、安土桃山時代に欧州から伝来した文物などについて学ぶ。	津山市教育委員会	随時	津山郷土博物館	小学生	20人	20人	文化課 郷土博物館	A	
132	1	文化講演会	「出島における黒坊について」 講師：東京大学史料編纂所共同研究員 イサベル・田中・ファンダーレン先生	津山市教育委員会	4月23日	津山洋学資料館	一般市民	80人	80人	文化課 洋学資料館	A	
133	1	洋学資料館春季企画展 「日本とロシアー 箕作阮甫・秋坪の対露交渉ー」	津山藩医の箕作阮甫はプチャーチン来航に際して幕府の交渉使節に随行。阮甫の養子・秋坪は幕末に2度幕府の使節に随行してロシアを訪問している。2代にわたって対露交渉に関わった阮甫・秋坪の業績を中心に、江戸後期から明治にかけての日露関係を紹介する。	津山市教育委員会	平成28年2月20日～ 6月19日	津山洋学資料館	一般市民	3,557人	3,000人	文化課 洋学資料館	A	
134	1	洋学資料館夏季企画展 「言の葉の海へーオランダ語翻訳に挑むー」	杉田玄白は『解体新書』翻訳時の印象を「櫓も梶もない船で大海に漕ぎ出した」と例えている。未知の言語へ挑むことは、それだけ困難な作業だった。オランダ語を訳し、新たな言葉を作りだしていった洋学者たちの苦闘を紹介する。	津山市教育委員会	7月2日～9月25日	津山洋学資料館	一般市民	2,005人	2,000人	文化課 洋学資料館	A	
135	1	洋学資料館秋季企画展 「生誕170周年記念 日本近代法学の祖 箕作麟祥」	箕作麟祥は、津山藩医・箕作阮甫の孫で、民法をはじめ明治期の数々の法律編纂に携わった。2016年に生誕170周年を迎えるのにあわせ、日本近代法学の祖と称される麟祥の生涯と業績を紹介する。	津山市教育委員会	10月8日～11月6日	津山洋学資料館	一般市民	1,212人	1,000人	文化課 洋学資料館	A	
136	1	洋学資料館冬季企画展 「山田純造生誕180周年記念 海田の医家 山田家の人と学問」	山田家は、現在の美作市海田にあって代々地域医療に尽くした医家である。華岡流医術を学び、幕末から明治期に活躍した純造を中心に、山田家の業績を紹介する。	津山市教育委員会	11月19日～2月19日	津山洋学資料館	一般市民	2,099人	2,000人	文化課 洋学資料館	A	
137	5	江戸時代の化学書からの再現実験教室	津山高専、津山高校との協力により、宇田川榕菴が著した日本初の化学書『舎密開宗』に記載されている科学実験を再現。児童生徒に参加・見学させることで、自然科学や郷土史への関心を高める。	津山市教育委員会	8月6日	津山洋学資料館	小学4～6年	34人	30人	文化課 洋学資料館	A	

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	H28実績 (参加人数等)	H28計画 参加予定人数 (評価基準値)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
138	1	ヒンデローベン絵付け体験教室	洋学資料館の展示室装飾に携わった永江絹子氏の協力により、ヒンデローベンの絵画技法による絵付け体験教室を開催し、オランダや洋学への関心を高める。	津山市教育委員会	7月31日	津山洋学資料館	一般市民	20人	20人	文化課 洋学資料館	A	
139	1	親子でヒンデローベンの作品づくり	洋学資料館の展示室装飾に携わった永江絹子氏の協力により、ヒンデローベンの絵画技法による絵付け体験教室を開催し、オランダや洋学への関心を高める。	津山市教育委員会	7月30日	津山洋学資料館	小学4～6年生・保護者	30人	20人	文化課 洋学資料館	A	
140	1	津山洋学資料館だより「洋学資料館」刊行事業	洋学資料館で実施した事業の報告や、資料紹介を掲載し、市民の洋学学習に資する。	津山市教育委員会	9月、2月	津山洋学資料館	一般市民	年2回	年2回	文化課 洋学資料館	A	第18、19号を刊行。実施事業の報告や資料の紹介。
141	1	洋学研究誌『一滴』刊行事業	広く洋学全般に関する論文を掲載、市民の洋学学習に資する。	津山市教育委員会	3月	津山洋学資料館	一般市民	1冊	1冊	文化課 洋学資料館	A	第24号を刊行。論文5題を掲載。
142	5	津山洋学資料館・上廣歴史文化フォーラム	【追加】 上之町出身で、幕末にオランダへ留学し、のちに法学博士となった津田真道をテーマに講演と対談を実施。地元上之町からの参加者が多かった。	公益財団法人上廣倫理財団・津山市教育委員会	11月19日	津山洋学資料館	一般市民	75人	70人	文化課 洋学資料館	A	「海外留学の志一 波瀾を越えた津田真道の思い」 講師：明海大学教授 岩下哲典先生 慶應義塾大学准教授 大久保健晴先生 洋学史学会理事 下山純正先生
143	5	冬季企画展関連講座	【追加】 冬季企画展「山田家の人と学問」に関連し、山田家の家伝業を分析、再現した。参加者は再現実演に熱心に見入っていた。	津山市教育委員会	12月4日	津山洋学資料館	一般市民	55人	50人	文化課 洋学資料館	A	「よみがえる山田家伝来の家伝業一成分分析の結果と処方の再現」 講師：就実大学薬学部 洲崎悦子先生、齋藤啓太先生、佐々木寛朗先生
144	2	オムニバス講演会	【追加】 職員3人が、洋学にまつわる様々なテーマで報告を行った。	津山市教育委員会	1月29日	津山洋学資料館	一般市民	60人	60人	文化課 洋学資料館	A	職員による研究報告会 テーマ「洋学あれこれ」
145	2	川崎医療福祉大学・津山洋学資料館合同講座	【追加】 医療関係の仕事の一つとして、メディカルイラストレーションを紹介。一般市民と高校生が参加した。	津山市教育委員会	3月12日	津山洋学資料館	高校生 一般市民	30人	30人	文化課 洋学資料館	A	「医の世界を志す君たちへ」 講師：川崎医療福祉大学 横田ヒロミツ先生、浦上淳先生、洋学資料館 乾康二
146	1	体育協会加盟種目団体スポーツ教室	野球・柔道・陸上等の体育協会加盟種目団体が各種教室を開催することにより、小・中学生の健全育成を図る。	各種目団体	通年	市内各所	小・中学生・一般	771人	750人	スポーツ課	A	年間を通じ実施。 全11教室の生徒数約750名 (各教室ごとに開催日数は異なる)
147	1	モーニングスポーツサービス(卓球・パドミントン)	市民が自主的にスポーツに取組むことにより、健康づくり・体カづくりを図る。	津山市教育委員会	毎週火・金曜日	津山総合体育館 他	一般市民	1,174人	1,200人	スポーツ課	A	
148	1	つやま市民スポーツ祭	生涯スポーツ社会の実現に向けて、市民がスポーツを身近に感じてもらう機会を提供することにより、健康増進に寄与する。	つやま市民スポーツ祭実行委員会	10月第2日曜	津山陸上競技場 津山スポーツセンター	一般市民	8,000人	8,000人	スポーツ課	A	
149	1	ニュースポーツ教室等	市民がスポーツに親しむ環境を提供し、ニュースポーツ・グラウンドゴルフ・にこにこトレーニング・親子チャレンジ教室を通じて生涯スポーツの振興を図る。	津山スポーツ振興財団	春季・秋季に8～10週	津山総合体育館 他	幼児～高齢者	4,600人	4,700人	スポーツ課	A	各種スポーツ教室に年間でのべ4,600人が参加。